



家族そろって町民ハイキング

4月24日(日)、初夏をおもわせるような絶好のハイキング日和。
清風園から、うまみち森林公园を通り城山までのコースを約100名が参加しました。

広報 よいた

5月 No. 203 [昭和58年5月10日]

■発行／与板町(代表者与板町長平沢甚九郎)

■電話(025872) 3100

■編集／与板町広報編集委員会

今月の主なみどころ

着々とすすむ	
生活環境の整備	… 2 ~ 5
教委からのおたより	… 8 · 9
ひろば	… 10 · 11
あつたつあ物語	… 12
わたしのふるさと	… 14

— 広報 “よいた” 58. 5. 10発行 —

保健婦さんの1口アドバイス

風しん流行

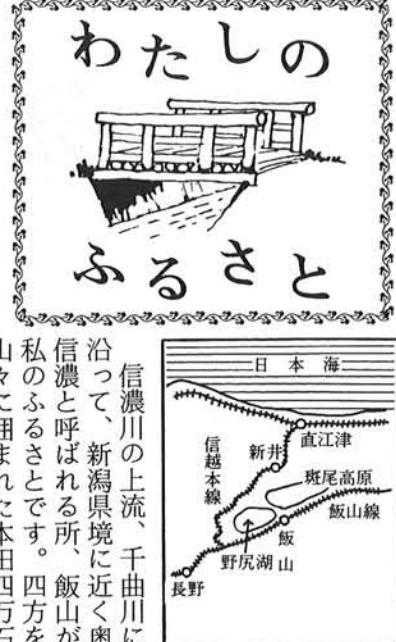
★ 昨年に続き風しんが流行しています。春から初夏にかけて流行し子供に多い伝染病で一度かかれば終生免疫をえます。しかし、成人の3割位は免疫がありません。

★ 症状は、耳の後ろ、頸部のリンパ腺のはれに始まり、発熱、顔から腹、背中、手足の順に発疹が出てき、3日位で発疹は消え一週間位で症状はおさまります。比較的重症になりませんが、まれに風しん脳炎をおこすことがあるので油断できません。

(2) (1) 自分が免疫をもつているかどうか病院で検査する。免疫のない人は予防接種を受ける。予防接種を受け前に妊娠していないことを確認すること、接種後は少なくとも2~3ヶ月は妊娠をさけることが必要。妊娠予定者は患者との接触を避けることが一番です。



長野県飯山市
(滝谷) 吉荒いよさん

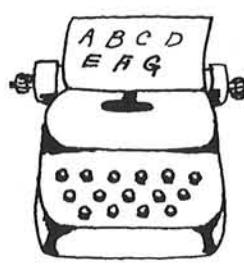


わたしのふるさと

信濃川の上流、千曲川に沿つて、新潟県境に近く奥に私のふるさとです。四方を山々に囲まれた本田四万石の城下町であり、寺が三十ヶ所もあるところから長野県の小京都とも呼ばれています。伝統産業には、日本一といわれる飯山仏壇と和紙の内山紙があり、又、全国に先がけて始めたスキー産業は生産の七割を占めています。冬、こたつにはいり食べるべつこう色に漬った野沢菜は格別です。

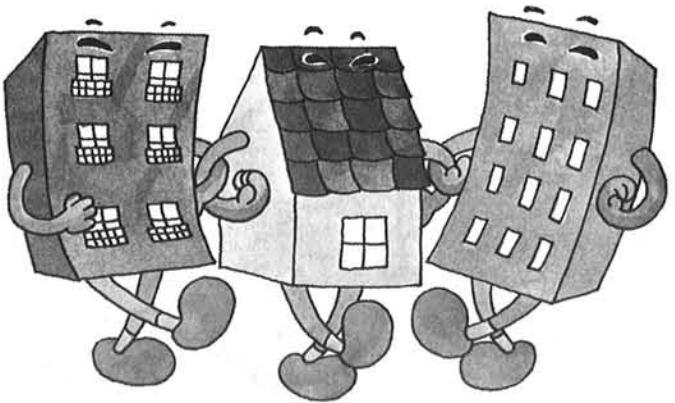
善光寺、志賀高原もあり、雄大な斑尾高原があり、少し足をのばすと近くには野沢温泉や新潟、長野両県で開発された雄大な斑尾高原があります。県歌「信濃の国」に、そびゆる山はいや高くと歌われているように、どこを見て山々の姿です。スキー場も多く、シーズンになるとスキーヤーでぎわいます。ふるさとを思う時、いつもかんでくるものは、四季折りく雄々しくも美しい静かに語りかけてくる山々の姿です。今まで月夜に白いりんごの花がうかんでいることでしょう。

▼ 今月号は、人口増対策の一つとして町が積極的にすめている分譲住宅地を紹介してみました。トは、連日利用者で満員。町にこのような施設が出来た事は、テニス爱好者としては感激です。トは、オープンしたテニスコートは、連日利用者で満員。町にこのようすが、汚れたり、破れたりしました。余分がありますので差しあげます。役場・広報係まで申し出下さい。



= 人 口 = (4月30日現在)

男	… 3,774人	女	… 3,991人
計	… 7,765人 (+20人)		
世帯数	… 1,810 (+ 9)		
転入	… 43人	転出	… 32人
出生	… 11人	死亡	… 2人



原分譲住宅用地

■分譲した年…昭和53年7月

■分譲した区画数…7区画

■所在地…与板町大字与板字原



下町分譲住宅用地

■分譲した年…昭和56年6月

■分譲した区画数…6区画

■所在地…与板町大字与板字下丁

（貸付けを受けることができる人）
次の条件のすべてに該当する人は、貸付けを受けられます。
一、与板町に自ら居住する人。
二、資金の貸付けを受けなければ木造の住宅を新築、できない人で、前年一年間の収入金額又は所得金額が次の額以下の人。
三、新築住宅の床面積が50m²以上又は増改築については完成床面積。その他の人。
四、請負者は与板町在住の住宅関連業者とする。
五、貸付予定者申込時に住

与板町総合整備計画とは

与板町総合整備計画は町民福祉向上を基本理念とし、与板町の特性を生かした産業の振興と都市近郊住宅地域としての地域社会の実現を目指す計画を定めるものであつて、計画期間内に具現しようとする主要施策は次の通りです。

（一）基礎的条件の整備に関する施

- ・交通網の整備を図る。
- ・自然災害防止の観点から、河川の改修並びに上流荒廃地の整備促進を図る。

（二）生活環境の整備に関する施策

- ・快適な住宅地の開発と公営住宅の整備を図る。
- ・信濃川中流域下水道事業着手を図る。

（三）教育文化の向上に関する施策

- ・学校教育施設の整備充実を図る。
- ・社会教育施設の整備を図ると共に指導者の育成を図る。
- ・文化財の保存と町史編さんとの促進を図る。

（四）産業の振興に関する施策

- ・既存工業の振興と新規工業の導入を図る。
- ・魅力ある小売商店街の形成を図る。
- ・後継者の育成を図る。
- ・効率的な行政運営の促進を図る。
- ・町民サービス向上のため、事務処理体制の整備を図る。

住宅資金貸付けを募集しています

与板町持家住宅緊急対策事業資金

この制度は与板町で住宅を建設（増改築を含む）しようとしていて、自己資金の不足する人のうち、一定の資格要件を備えた人に對して資金を貸し付けることにより、持家促進と併せて建築関連業界の振興を図るために行う制度です。

昭和五十三年に、原町内に住宅用地を分譲して以来毎年人口増対策の一つとして、住宅用地の開発を心がけております。町に残つて住みたいんだけどなかなか土地がない。又、あっても土地が高くて手が出ない。こんな声をよく聞き、町では長岡地域土地開発公社、与板事業所の手により宅地開発を進めて

きております。
今月号は、与板町総合整備計画における住宅問題と昨年まで開発を行つた住宅用地、又、現在行つている事業を紹介してみました。
町では今後もこのような事業を積極的に進め、皆さんが安心して住める町づくりをめざしていきます。

生活環境の整備





新築中の住宅用地



住

与板町における住宅の状況は、持家が九十二%、借家・その他が七・六%、間借りが〇・四%であり世帯構成人員四・三八人に對し、世帯平均室数が六・三室であり、一人当たりの畳数は九・二枚と規模は極めて高い水準を示している。又持家率もこの十年間に四・一%上昇している。しかし、これ等の持家の実情を検討すると、昔ながらの床面積

住宅

二〇〇戸を調達する為には、目標年次までの必要戸数だけ多い家屋も多く、又建築年度も昭和二十五年以前のものが五十%近く示めている。

又、賃貸住宅の主流は町営住宅であるが、この内、東与板地区、五軒町地区の町営住宅については老朽化も進み、健全住宅といえないものもあり、近い将来この整備の必要があります。

整備計画

目標年次までの必要戸数
二〇〇戸を調達する為には

＜町営住宅の状況＞

	総戸数	建設年度	戸 数	敷地面積
	(戸)		(戸)	(m ²)
五軒町住宅	20	昭和26年	5	
		昭和27年	5	3,234.99
		昭和28年	10	
東与板住宅	10	昭和29年	10	1,593.23
山沢住宅	15	昭和39年	15	2,498.13
安永住宅	10	昭和52年	6	
		昭和53年	4	1,473.00

※問合せ先
取扱金融機
与板町役場

貸付予定者申込みが多数の場合は原則として抽選により決定しますが、次の各号のいずれかに該当する人については他に優先して貸付けを行います。

その他

一、受付期間は今月末日までです。

二、申込みに必要な書類は貸付予定者申込書です。

三、同一の建物についての重複申込みはすべて無効となります。



- 分譲した年…昭和57年7月
 - 分譲した区画数…8区画
 - 所在地…与板町大字与板字江西

江西分讓住宅用地



- 完成した年…昭和58年2月
 - 入居数…6世帯
 - 所在地…与板町大字与板字江西

県営アパート設置用地



- 完成予定…昭和59年3月
 - 入居数…16世帯
 - 所在地…与板町大字与板字柳之町

金融機関と貸付契
約ノ後で田保又

金融機関と貸付契約を締結した後で担保取入後。昭和五十九年三月三十一日までに借り入れないと貸付決定は無効となります。

江西警察官舍

教職員住宅

宇の建築美術を紹介して
いない人。

昭和 58 年 5 月 10 日

与板中学校の改築延期について

与板町長 平 沢 甚 九 郎

① 中学校改築のための設計費の提案は見送りました。

老朽化の進んだ与板中学校の改築につきましては中学生に環境の整った新しい教育施設をという純粋な気持から今年設計に入る予定でしたが、町民の皆様への広報不足もあり、又陳情書に署名された皆さんの御意志も考えて慎重に対処して参りました。議長よりの申し入れもありましたので、その意を尊重してこのたびは設計費の提案を見送り、従って改築につきましてもいづれ時を選ぶことに致しました。

② もっとも重要なことは信頼を基礎とする教育を大切にすることと、大事業に対して全町民的合意をいただくことです。

教育の問題で町民をおさわがせし、広く世間にそのニュースが広まった現在、もっともむづかしい年令といわれる多感な中学生に動搖を与えることは構えてるべき策ではなく、とりわけ教育は人間と人間のゆるぎない信頼の上になり立つものと常々考えています。その大切な信頼にひびが入った時には予想もしない事態の生まれる事が心配です。教師、生徒、父母家庭、地域住民、そして町、すべてが共通の理解をもち血の通ったあたたかい信頼関係がなければ真の教育は成り立たないと思います。このことと合わせて重要なことは、中学校の改築には多くの尊いお金を使わなければなりませんので町民の皆様にとりましては環境整備の面や行政サービスの問題で色々御迷惑をおかけすることになります。これらをがまんしていただいて進めいかなければならぬ大事業でありますから、特に町民的合意をいただくことが必要だと考えました。

③ 世論のすう勢を見定め、議会の協力を得ながら建設着手の方向に進みます。

このような事情によって改築の年次はおくれますが、現在の中学校の必要な修理は施し、今後時間をかけても町民の皆様との対話の中で町民の皆様の御意向を見定め、議会と協力しつつ町民多数の御同意を得られる場合の中で建設へと進みたいと思います。

与板町とそこに根づく与板教育は永遠に続くものであります。賢明な町民の皆様は等しく町の将来を展望し、子弟の教育についても真剣に考えて下さるものと信頼しております。

以上中学校改築延期についての経緯と今後に処する考え方を申しのべましたが、皆様の御理解と御協力を切に御願いを申し上げます。